

# 柴又地域における 学校改築等の考え方について

---

葛飾区  
葛飾区教育委員会

## (1) 葛飾区の学校改築

昭和30年～40年代に建設した小・中学校の老朽化が進んでおり、区では計画的に学校改築を進めています。改築に当たっては、今後の学級数の推計や学校施設の老朽化の状況などを踏まえるとともに、地域バランスも考慮しながら、平成30年度に葛飾区を7つのエリアに分けて1校ずつ改築校を選定しました。

地域	新校舎完成済	これから改築を進めていく学校
水元地域	—	水元小学校
亀有・青戸地域	中青戸小学校	道上小学校
奥戸・新小岩地域	小松中学校	二上小学校
立石・四つ木地域	本田中学校	よつぎ小学校
南綾瀬・お花茶屋・堀切地域	西小菅小学校	宝木塚小学校
金町・新宿地域	東金町学校	常盤中学校
柴又・高砂地域	高砂小学校・高砂中学校	柴又小学校

## (2) 葛飾区が目指す学校改築

子どもたちの良好な教育環境の向上を目指し、地域と学校のつながりを重視した新たな学校づくりを進めています。

- ①学びのスタイルの変化に対応した建物
  - ・教室面積の拡大 (63㎡→74㎡) ・ICTへの対応
  - ・学習センター (学校図書館) の充実 など
- ②バリアフリー、ユニバーサルデザインへの配慮
  - ・段差解消 ・バリアフリースイッチ ・エレベーター設置 など
- ③環境・衛生面の配慮
  - ・太陽光発電などの省エネルギー化 ・ポストコロナへの対応 など
- ④防災機能の強化
  - ・自家発電装置の設置 ・貯水機能付給水管
  - ・水害を想定した体育館、備蓄倉庫の2階設置 など
- ⑤地域と学校とのつながりを重視した学校
  - ・周辺環境に調和した校舎
  - ・学校の歴史の継承
  - ・施設開放しやすいレイアウト

### 改築のイメージ



## (3) 柴又地域における学校改築（案）について

### (案1)

柴又小学校の単独改築

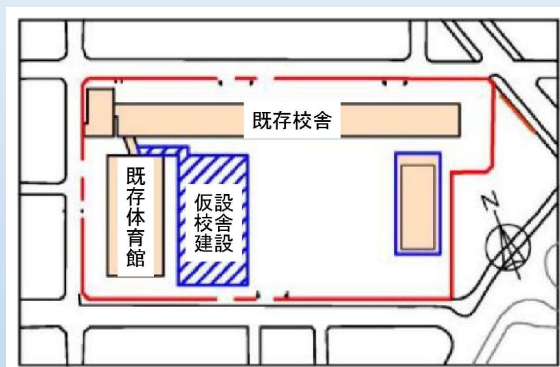
### (案2)

柴又小学校に東柴又小学校、桜道中学校も含めた  
柴又地域一連の学校改築

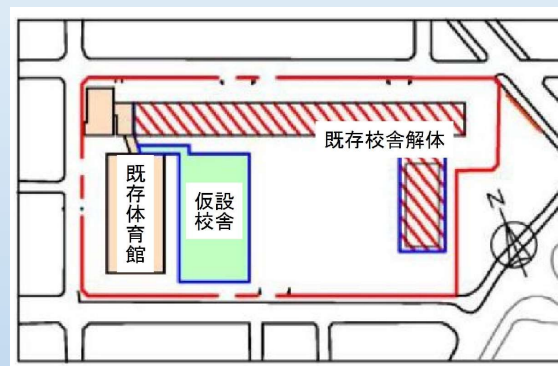
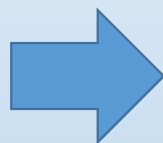
柴又小学校と東柴又小学校をいずれか一方の敷地に一体で整備し、もう一方の空いた小学校の敷地を、単独改築が困難な桜道中学校の仮設校舎として活用することで桜道中学校も改築する。

# (4) 柴又小学校の単独改築の場合

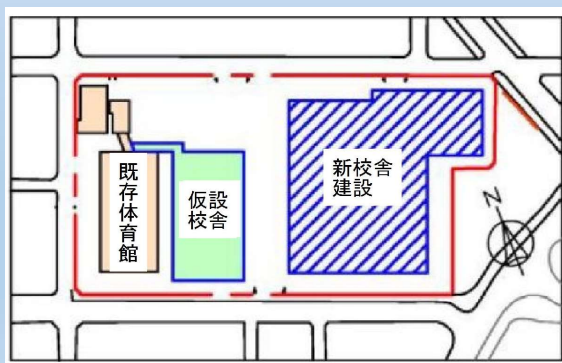
## 改築工事工程 (案)



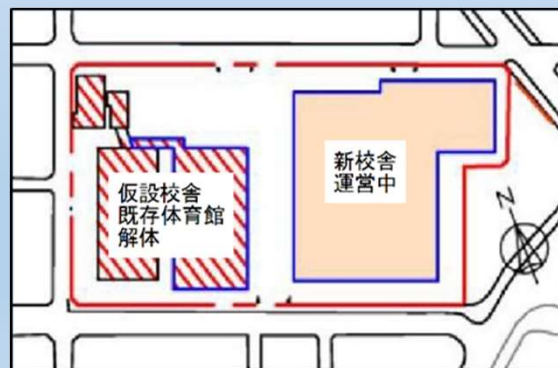
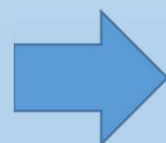
① 仮設校舎建設  
(半年程度)



② 既存校舎解体  
(半年程度)



③ 新校舎建設  
(1年半程度)



④ 仮設校舎・  
体育館解体、外構整備  
(1年半程度)

## (5) 柴又地域一連の学校改築の場合

### 柴又地域の学校の状況

学校名	柴又小学校	東柴又小学校	桜道中学校
所在地	柴又四丁目30番1号	柴又五丁目12番15号	柴又四丁目3番1号
敷地面積	7,646m <sup>2</sup>	10,215m <sup>2</sup>	10,104m <sup>2</sup>
延べ面積	5,232m <sup>2</sup>	4,343m <sup>2</sup>	6,407m <sup>2</sup>
児童・生徒数	291人 特別支援学級24人	308人	414人
学級数	12学級 特別支援学級3学級	12学級	12学級
建築年	昭和40年	昭和38年	昭和35年

いずれの学校も建築から50年を超え、改築等を検討する時期にきています。

## (5) 柴又地域一連の学校改築の場合

### 柴又地域の学校の状況



桜道中学校単独で改築する場合、敷地内に  
高圧線があるため、工事期間に影響が生じます。



# (5) 柴又地域一連の学校改築の場合

一連の学校整備の方法 (案)

① 仮校舎整備

< 小学校 A 敷地に一体整備する場合 >



	小学校 A	小学校 B	桜道中学校
学校運営	小学校 A 単独	小学校 B 単独	桜道中学校単独
校舎	既存校舎	既存校舎	既存校舎
工事	—	仮校舎整備	—

※ 小学校 A・小学校 B が、柴又小学校もしくは東柴又小学校のどちらに該当するかは未定です。



# (5) 柴又地域一連の学校改築の場合

## 一連の学校整備の方法 (案) ②解体・小学校新校舎建設

小学校 A の校舎を解体し新校舎を整備します。小学校 B を仮校舎として使用するため小学校 A を小学校 B に引越し、A・B校合わせた新たな小学校 (C) として運営します。



	小学校 A 敷地	小学校 B 敷地	桜道中学校敷地
学校運営	—	<u>新小学校 (A + B = C) で運営</u>	桜道中学校単独
校舎	—	既存校舎 + 仮校舎	既存校舎
工事	解体・新校舎建設	—	—

※小学校 A・小学校 B が、柴又小学校もしくは東柴又小学校のどちらに該当するかは未定です。

## (5) 柴又地域一連の学校改築の場合

### 一連の学校整備の方法 (案) ③ 中学校仮校舎整備

小学校 A の敷地に新校舎完成後、小学校 B から引越し、新学校 (C) として運営を開始します。引越し完了後、小学校 B の校舎は、桜道中学校が仮校舎として使用する準備をします。



	小学校 A 敷地	小学校 B 敷地	桜道中学校敷地
学校運営	<b>新小学校 C で運営</b>	—	桜道中学校単独
校舎	新校舎	既存校舎 + 仮校舎	既存校舎
工事	—	中学校仮校舎整備	—

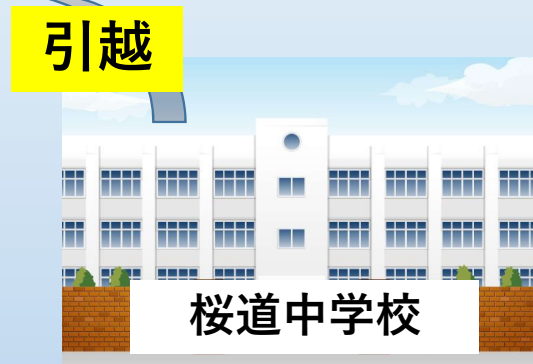
※小学校 A・小学校 B が、柴又小学校もしくは東柴又小学校のどちらに該当するかは未定です。

# (5) 柴又地域一連の学校改築の場合

## 一連の学校整備の方法 (案)

### ④解体・中学校新校舎建設

桜道中学校解体のため、小学校B敷地の校舎を桜道中学校の仮校舎として使用します



	小学校 A 敷地	小学校 B 敷地	桜道中学校
学校運営	<b>新小学校 C で運営</b>	桜道中学校単独	—
校舎	新校舎	既存校舎 + 仮校舎	—
工事	—	—	解体・新校舎建設

※小学校 A・小学校 B が、柴又小学校もしくは東柴又小学校のどちらに該当するかは未定です。

# (5) 柴又地域一連の学校改築の場合

## 一連の学校整備の方法 (案)

### ⑤解体

桜道中学校新校舎完成後、新たな校舎に引越します。桜道中学校が仮校舎として活用した小学校B敷地は、校舎を解体します。



	小学校 A 敷地	小学校 B 敷地	桜道中学校敷地
学校運営	<b>新小学校 C で運営</b>	—	桜道中学校単独
校舎	新校舎	既存校舎 + 仮校舎	新校舎
工事	—	解体	—

※小学校 A・小学校 B が、柴又小学校もしくは東柴又小学校のどちらに該当するかは未定です。

## (6) それぞれの改築手法による学校整備に要する期間

単独改築工事			柴又地域一連の学校改築工事
柴又小学校	東柴又小学校	桜道中学校	
仮設校舎建設 6カ月	プール解体 3カ月	プール・体育館解体 6カ月	既存校舎解体（小学校） 12カ月
既存校舎・プール解体 6カ月	仮設校舎建設 6カ月	新校舎建設① 18カ月	新校舎建設（小学校） 18カ月
新校舎建設 18カ月	既存校舎解体 12カ月	既存校舎解体① 6カ月	外構整備（小学校） 6カ月
既存・仮設校舎解体・外構 18カ月	新校舎建設 18カ月	新校舎建設② 18カ月	既存校舎解体（中学校） 12カ月
	仮設校舎解体、外構整備 12カ月	既存校舎解体② 6カ月	新校舎建設（中学校） 18カ月
		新校舎建設③ 18カ月	外構整備（中学校） 6カ月
		外構整備 6カ月	
計 48カ月（4年）	計 51カ月（4年3カ月）	計 78カ月（6年6カ月）	計 72カ月（6年）

※上記の工事期間の他に、設計などで約3～4年かかります。

## (7) それぞれの改築手法のメリット・デメリット

柴又小学校単独での改築と柴又地域一連の学校改築との比較

	メリット	デメリット
柴又小学校 単独での改築	<ul style="list-style-type: none"> <li>柴又小学校、東柴又小学校ともに学校が残ることで、慣れ親しんだ同級生や教師とそのまま学校生活を送ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事中の騒音、振動などにより教育環境への影響が大きい。</li> <li>外運動空間が全くない状況での工事になる期間が長い。</li> </ul>
柴又地域一連の 学校改築	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事期間が短縮できるため、桜道中学校も含めて、工事中の学習環境への影響が少なくなる。</li> <li>新しい時代の学びに適した学校施設で児童・生徒が等しく学ぶことができる。</li> <li>小学校は将来的に適正規模の児童数を維持することができる。</li> <li>地域の防災機能の強化につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの環境が変わる。</li> <li>柴又小学校、東柴又小学校のどちらかの学校がなくなる。</li> <li>小学校の通学区域が広がり、通学距離が長くなる児童が出てくる。</li> </ul>

## (8) 柴又地域の学校改築に当たっての進め方

区では、説明会のご意見などを踏まえ、柴又地域一連の学校改築を進めてまいりたいと考えております。

今後は、地域を代表する方や学校関係者などで構成する学校改築懇談会を立ち上げ、地域の皆様と一緒に新たな学校づくりに向けた検討をしてまいります。

## (9) お問い合わせ

### 電話

- ・ 施設部施設管理課学校施設計画担当係  
電話：03-5654-8138  
担当：小原（こはら）
- ・ 教育委員会事務局教育総務課学校施設係  
電話：03-5654-8453  
担当：菌部（そのべ）

### メール

右側のQRコードを読み取り、お問い合わせください。

